

# Ntripクライアントアプリ ユーザーマニュアル

アプリインストール方法  
一般的な Android スマートフォンでの画面操作  
アプリの設定方法

## contents

1 はじめに	1
2 準備するもの	2
3 アプリのダウンロード	3
3.1 QRコードからのダウンロード	3
3.2 アプリのインストール	4
3.3 アプリの権限について	5
4 Bluetoothのペアリング	6
5 アプリの設定	7
5.1 ホーム画面	8
5.2 設定画面	10
5.2.1 受信機設定	11
5.2.2 Ntrip設定	12

# 1

## はじめに

この説明書は、「MA-E350簡易基準局システム」から、補正情報を取得するための手順を記したものです。記載されているアドレスやユーザー名、パスワードなどは記載例ですのでご注意ください。

接続情報は、サービス提供者から提供される契約情報などをご覧ください、ご入力ください。

また、本説明書で記載のアプリ以外に、ご自身で別のアプリケーションを使用される場合は、設定方法が異なることがあります。

本説明書ではあくまで推奨アプリの使い方のみ記載しておりますので、それ以外のアプリにおけるトラブル等の責任は負いかねます。

# 2

## 準備するもの

基準局システムへの接続の前に、下記機材を準備します。



- お手持ちの機械によっては、準備に必要なものが異なりますので、機械販売店にお問い合わせください。

### スマートフォン(Android OS)

データ通信が可能なスマートフォンをご用意ください。

もしくは、Wi-Fiルーターやお手持ちの別のスマートフォンによるテザリングでの通信でも構いません。



### Bluetooth シリアル変換機 Parani-SD1000



USB給電・バッテリー非搭載モデル

### ジェンダーチェンジャー データクロスタイプ



# 3

## アプリのダウンロード

ここでは、Ntripクライアントアプリのダウンロードとインストールの方法を記述します。  
対応のバージョンや画面の見え方については、更新により本マニュアルと異なる場合がございます。最新版のアプリケーションをご利用ください。

### 3.1 QRコードからのダウンロード

下記のQRコードを読み込んでアプリをダウンロードしてください



図 3-1 Ntripクライアントアプリダウンロードリンク

ダウンロードリンクからダウンロードできるものは、apkファイルというものになります。  
インストールはそれぞれお持ちの端末の表示に従って行ってください。  
また、セキュリティの設定によっては、インストール時に許可を求められる場合がございます。

- \* ● 本アプリはAndroid OSの端末を対象にしたアプリケーションです。iOSでは動作いたしません。
- \* ● Androidバージョン9.0以降で動作確認をしております。8.0以下のバージョンでの動作については、ご使用になる端末によって画面や動作が異なる場合がございます。

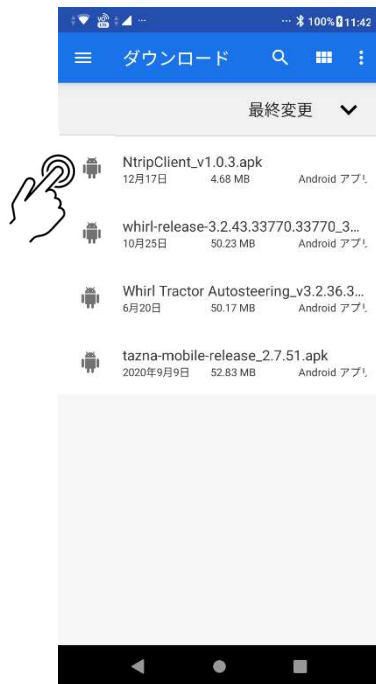
## 3.2 アプリのインストール

ダウンロードが完了したら、アプリのインストールを行います。

ダウンロード後、すぐにインストールが始まる場合は、画面の指示に従ってアプリをインストールしてください。

ここでは、一般的なスマートフォンでの一例をご紹介します。

### 1 アプリをダウンロードし、ダウンロードしたapkを開きます。



ダウンロード時の apk ファイルの名前は下記になります。

NtripClient\_v1.0.3.apk

※2022年12月現在

図 3-2 ダウンロードしたapkをタップします。

### 2 インストールを開始します。セキュリティの表示が出た場合は、続行をタップします。

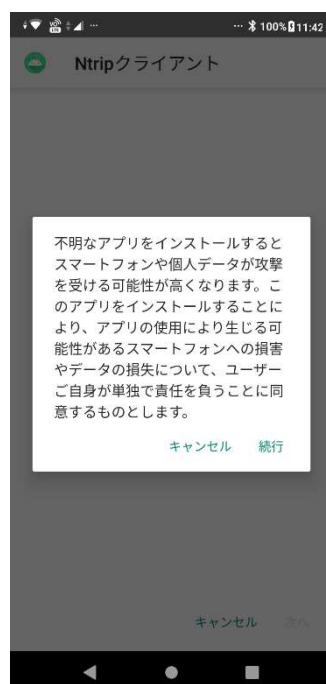


図 3-3 インストール時、セキュリティチェック画面

### 3 セキュリティチェック後、インストールを開始します。

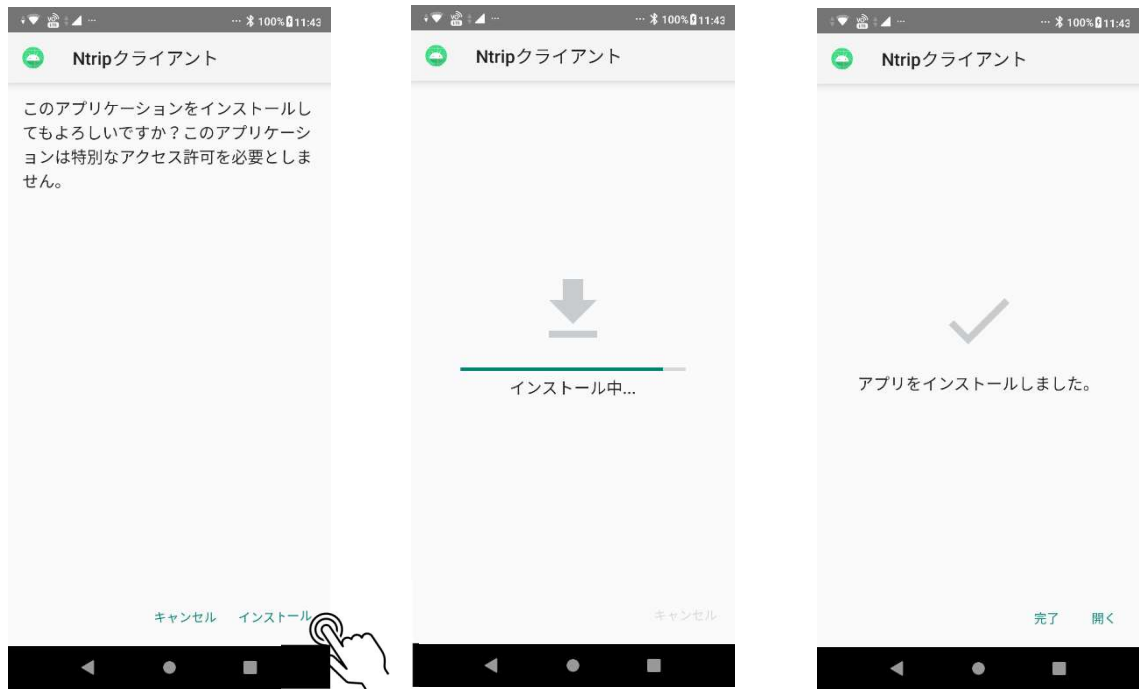


図 3-4 インストールをタップ

## 3.3 アプリの権限について

本アプリは、スマートフォンの位置情報を利用します。

アプリをインストールした際に、アプリ側で位置情報の権限を要求することがございますが、仕様ですので、権限をONにしてご使用ください。

なお、権限の設定については、お使いのスマートフォンの設定によって異なる場合がございます。

# 4

## Bluetoothのペアリング

アプリのインストールが終わりましたら、Bluetooth-シリアル変換器“Parani-SD1000”（以下Parani）とペアリングをします。

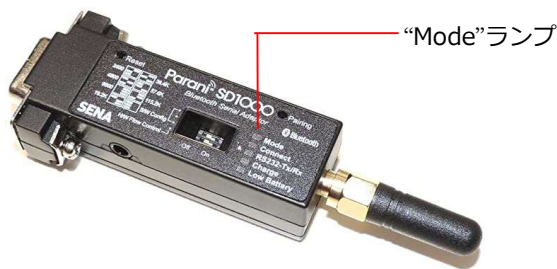
ペアリングはアプリからではなく、スマートフォンの設定画面から行ってください。

- \* お使いのスマートフォンによって、画面文言やレイアウトが違う場合があります。

### 1 Paraniの電源を入れます。

USB給電で、Paraniの電源を入れてください。

Paraniは電源が入ると、下写真の右側にある“Mode”のLEDランプが緑色に点滅します。



### 2 設定アプリからBluetooth接続設定を選択します。



### 3 「新しいデバイスとペア設定する」を押します。

**SD1000v2.0.8-----**(番号はParani固有です) と表示されるBluetooth端末を見つけ、ペアリングを行ってください。

ペアリングの認証番号は、初期設定では「1234」もしくは「0000」となります。

ペアリング端末に表示されない場合は、前面の“Pairing”スイッチを先の細いピンで長押ししてください。

- \* 一度ペアリングすれば、次回以降は自動的に接続となります。



# 5

## アプリの設定

インストールが完了しましたら、アプリの設定を行います。

インストールしたアプリはホーム画面に出てこない場合がありますので、その場合は、アプリ一覧から開いてください。



図 5-1 アプリを開きます。アイコンは緑色です。

## 5.1 ホーム画面

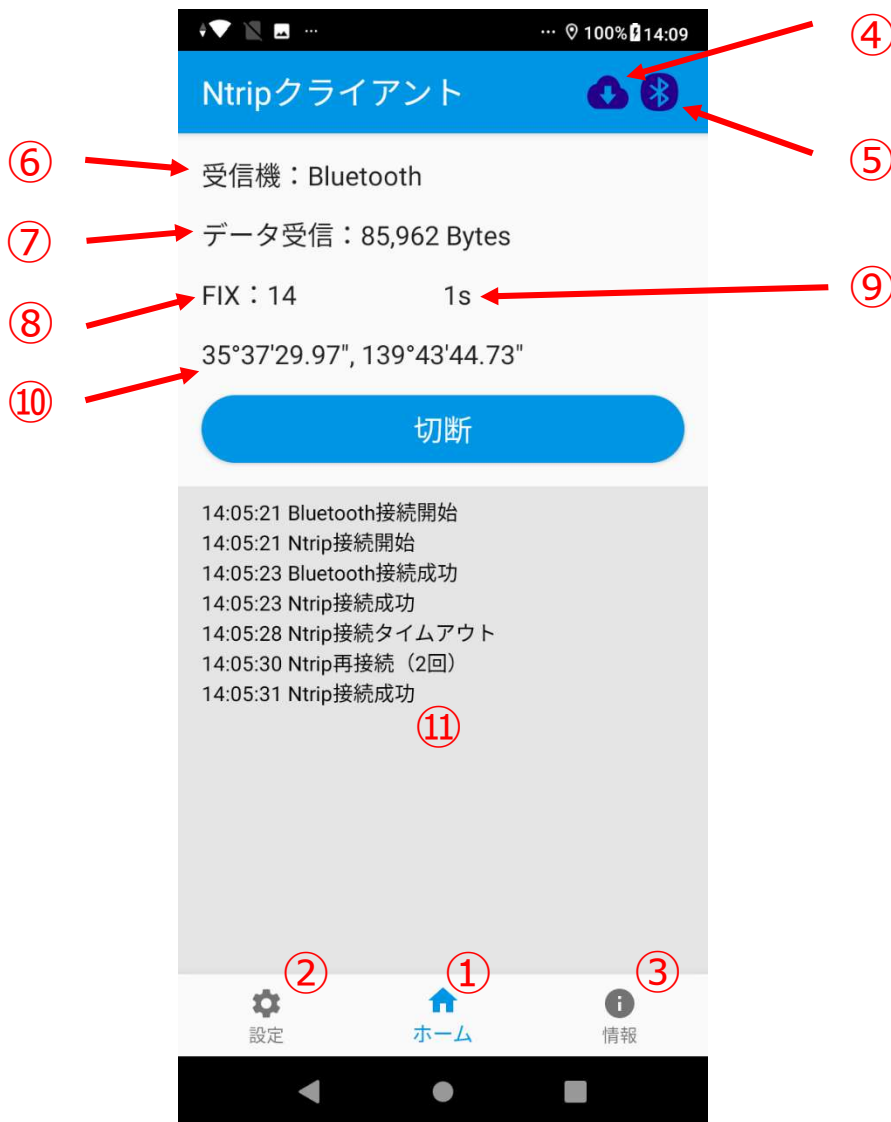





図 5-2 ホーム画面

各ボタン・アイコン	説明
<p>①ホームボタン</p> 	<p>ホーム画面に戻るためのボタン 設定画面やヘルプ画面からホーム戻る際に使用します。</p>
<p>② 3 設定ボタン</p> 	<p>Ntrip接続の設定や、Bluetooth端末との接続設定をする画面を開くボタンです。</p>
<p>③情報ボタン</p> 	<p>ヘルプ画面やソフトウェアのバージョン情報などを見る画面を開くボタンです。</p>

<b>④サーバー接続アイコン</b> 	アイコンの色でそれぞれ下記の状態を表します。 赤：サーバーと未接続 青：サーバーと接続状態
<b>⑤Bluetooth接続アイコン</b> 	アイコンの色でそれぞれ下記の状態を表します。 赤：Bluetooth端末と未接続 青：Bluetooth端末と接続状態
<b>⑥受信機</b>	選択している補正情報送信端末を表示します。 Bluetooth：Bluetooth端末に向けて補正情報を送信します。
<b>⑦データ受信</b>	サーバーからデータを受け取った量を表示します。
<b>⑧GNSS受信機のステータス</b>	接続しているGNSS受信機から、ステータスが送られてくる場合は、ここに表示されます。 SGPS:補正情報計算無し(誤差数m) DGPS:ディファレンシャルGPS (誤差数10cm) Float：フロート状態 (誤差数センチ, 受信環境などで生じる) Fix：RTKフィックス状態(誤差±3cm)
<b>⑨Age(エイジ)表示</b>	基準局情報が何秒前のものを使用して計算しているか表示します。 1s=1秒となります。 通常は、1~3秒ほどで基準局情報が更新されます。
<b>⑩位置情報</b>	接続されているGNSS受信機が計算している位置情報を表示します。
<b>⑪イベントログ</b>	接続の成功や失敗など、時刻とイベントを表示します。

## 5.2 設定画面

設定画面ではNrtip接続情報やBluetooth接続の設定が可能です。



図 5-3 設定画面

## ▶ 5.2.1 受信機設定

Bluetooth接続を行うページです。

ペアリングをしている端末と接続をしたり、自動接続の有無を設定できます。

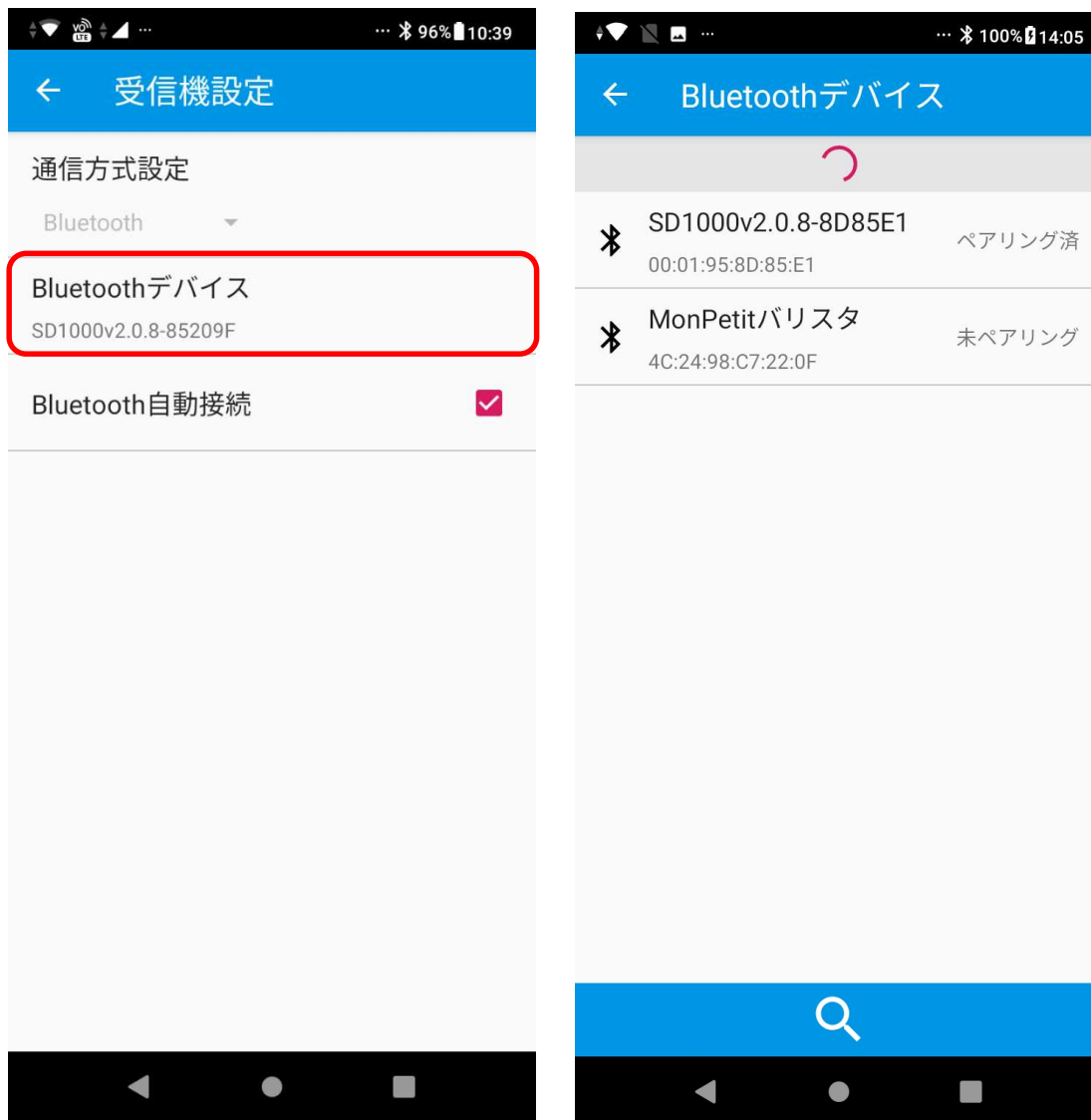


図 5-4 受信機設定画面

<b>通信方式設定</b>	Bluetoothのみ選択可能です(ver1.0.3)
<b>Bluetoothデバイス</b>	付近のBluetoothデバイスを表示します。 ペアリング履歴のある端末はペアリング済という表記になります。
<b>Bluetooth自動接続</b>	チェックを入れると、Bluetoothが途切れた際に、自動的に再接続を行います。 特にParaniをご利用になる場合は、チェックを入れてご使用ください。

## ▶ 5.2.2 Ntrip設定

補正情報サーバーへの接続設定を行う画面です。

接続情報については、補正情報を契約した販売店、サービス業者にお問い合わせください。

各項目の詳細については、下段でご説明いたします。

	<b>ホスト</b>	<p>接続先のURLやIPアドレスを打ち込みます。 接続先の情報については、サービス提供者にお問い合わせください。</p>
	<b>ポート</b>	<p>通常は「2101」を設定します。</p>
	<b>マウントポイント</b>	<p>リストもしくは手動入力が可能です。 初期は空欄にしてもかまいません。</p>
	<b>ユーザー名</b>	<p>サーバーに接続するためのIDを入力します。 サービス提供者にお問い合わせください。</p>
	<b>パスワード</b>	<p>サーバーに接続するためのパスワードを入力します。 サービス提供者にお問い合わせください。</p>
	<b>現在位置の送信</b>	<p>Ntripサーバーへ受信機からの位置情報もしくはスマートフォンの位置情報を送信します。 位置情報の送信が必要かどうかは、サービス提供者にお問い合わせください。</p>
	<b>Ntrip設定選択</b>	<p>現在入力している内容の保存、保存している内容の読み込みが可能です。</p>

図 5-5 Ntrip設定画面

### ▶ ホストについて

ホストは、サーバーの接続先のことです。

サービス提供者から、接続先のURLもしくはIPアドレスを事前に入手してください。

IPアドレスとは、例えば「210.156.165.229」というような2~3桁の数字4つで構成されるものです。

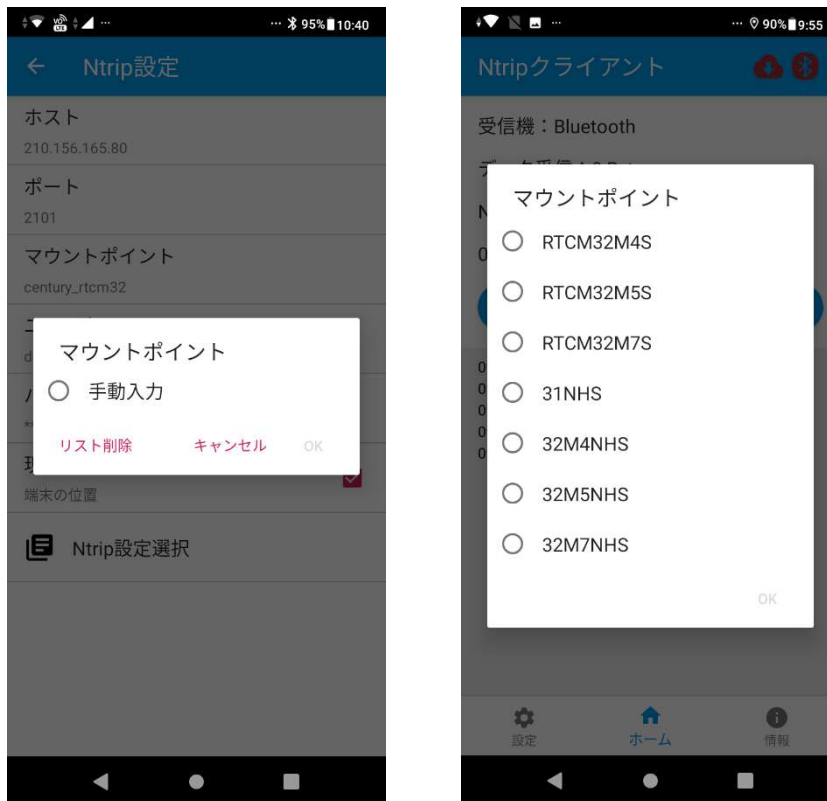
### ▶ ポートについて

基本はどのサービスにおいても「2101」を指定することが多いですが、ポートが異なる場合がございますので、事前にご自身でご確認のうえ、設定してください。

### ▶ マウントポイントについて

通常は、最初は空欄にしておいて、サーバーに接続した際にリストが出てきます。そのリストの中からご自分の使用したいものを選択して設定ください。

サービス提供者から手動入力を求められた場合は、手動入力にチェックを入れて、ご自身で設定を行ってください。



一度サーバーに接続が成功すれば、右側のようにリストが自動でダウンロードされ表示されます。

### ▶ ユーザーネームについて

サーバーに接続するためのIDになります。

サービス提供者から事前に接続情報を入手いただき、内容を入力します。

### ▶ パスワードについて

サーバーに接続するためのパスワードになります。

サービス提供者から事前に接続情報を入手いただき、内容を入力します。

### ▶ 現在位置の送信について

現在位置の送信とは、NtripサーバーへGNSS受信機の位置、もしくはスマートフォンの位置情報、または任意の座標を送る機能です。

VRSサービスや一部のRRSサービスでは必要となる機能ですので、事前にサービス提供者にご確認のうえ、設定してください。



図 5-6 位置情報送付選択画面

---

**端末の位置** アプリをインストールしているスマートフォンの位置情報をサーバーに送ることが可能です。

事前に、位置情報の設定をONにし、アプリの権限で位置情報の権限をONにしておいてください。

---

**外部受信機** ParaniなどのBluetooth端末と接続しているGNSS受信機からの位置情報をサーバーに送ることが可能です。

VRSなど比較的高精度な測位を行いたい場合は、こちらを選択してください。

---

**手動入力** 緯度・経度を任意で入力可能です。

現在位置や、任意の場所での基地局情報を取得する際に設定を行います。

緯度、経度ともに度分秒での入力になります。

---

### ▶ Ntrip設定選択について

入力した内容を名前をつけて保存することが可能です。また、過去に名前をつけて保存した設定を読み込むこともできます。



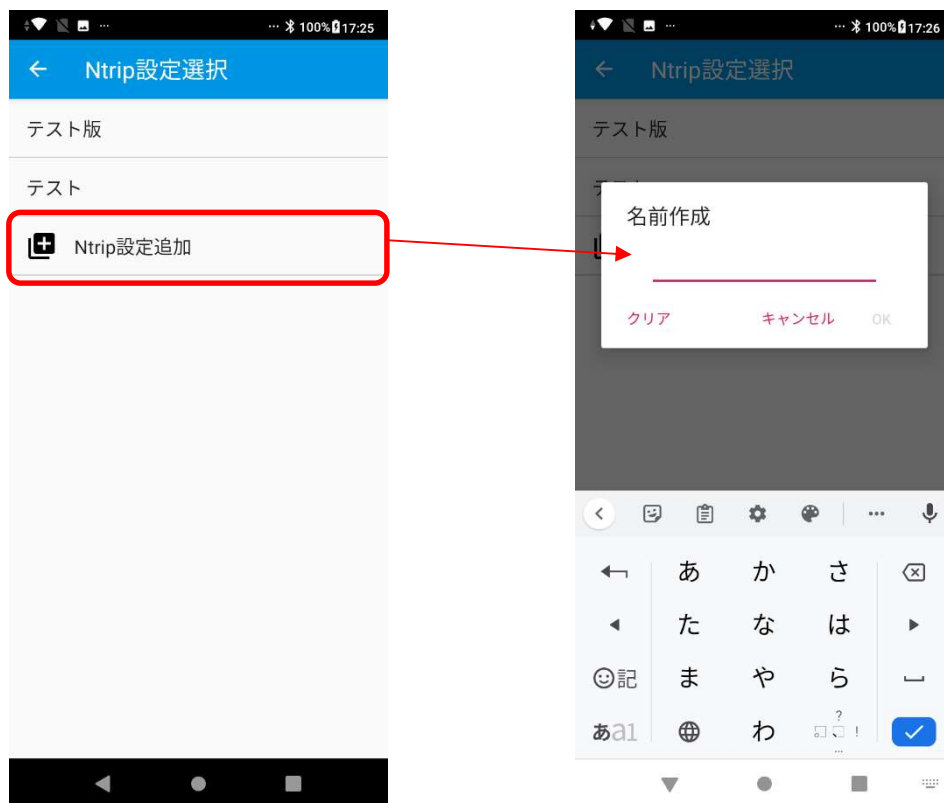
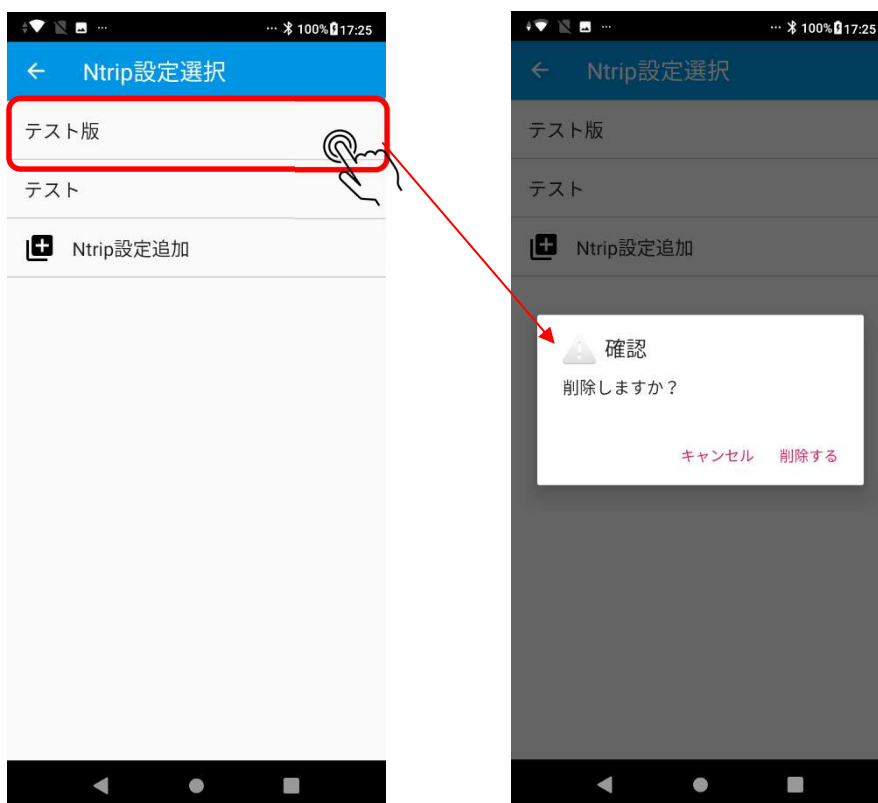


図 5-7 Ntrip設定追加

- 設定追加ボタンを押すと、名前を入力できますので、任意の名前を入れて保存してください。  
※全角・半角英数ともに入力可能です。



- 設定を削除する場合は、削除したい設定を長押しすると、メニューが表示されます。



## Ntripクライアントアプリ

ユーザーマニュアル

2023年3月1日 第1.1版

ジオサーフ株式会社

〒143-0006  
東京都大田区平和島6-1-1 TRCセンタービル526  
TEL:03-6423-0925  
FAX:03-6423-0926  
<https://www.geosurf.net/>  
[info@geosurf.net](mailto:info@geosurf.net)